

モチベーション(動機付け)

※患者へプラークコントロール(セルフケア)に対する動機を与えること

- 信頼関係(ラポール)の確立
- 患者に適した口腔清掃法の選択
- ブラッシング時間の生活習慣化
- プラークコントロールの習慣化

プラークコントロールの方法

分類	方法、使用薬物など	
機械的プラークコントロール	歯ブラシ、デンタルフロス、歯間ブラシ等 スケーリング(歯石取り)	
化学的プラークコントロール	歯磨剤	デキストラナーゼ、ムチナーゼ等
	洗口剤	ポビドンヨード、クロルヘキシジン、塩化セチルピリジウム等

ブラッシング法

毛先を歯軸と直角に当てる方法



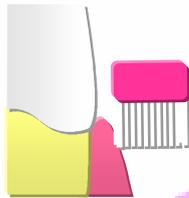
横みがき法
縦みがき法
フォーンズ法
スクラッピング法

毛先を45°歯肉側に傾ける方法



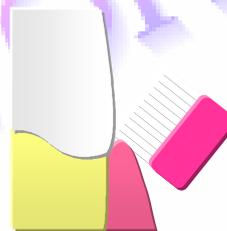
バス法
バス改良法

毛先を歯軸とほぼ平行に当てる方法



ローリング法
スティルマン法
スティルマン改良法

毛先を45°歯冠側に傾ける方法



チャーターズ法

電動歯ブラシ

利点

- ブラッシング時間が短い
- ブラッシング方法が簡便

欠点

- 高価
- 持ち運びに不便
- 電源が必要
- 騒音がある

補助清掃器具

- デンタルフロス
- 歯間ブラシ
- 歯間刺激子(トゥースピック)
- ラバーチップ(ゴム状のもの)



洗口剤

1. 酵素剤

- 歯磨剤に配合
- プラークの分解(デキストラナーゼ、ムチナーゼ、ヒアルロニダーゼ)

2. 抗菌薬

- 洗口剤またはポケット内洗浄剤
- クロルヘキシジン：殺菌作用、界面活性作用
欠点は歯面の着色や味覚障害
- フェノール化合物：プラークの抑制、歯肉炎の改善
- ポビドンヨード：クロルヘキシジンと同様、耐性菌が生じない
- 塩化セチルピリジニウム(CPC)：クロルヘキシジンと親戚関係にあるが、作用は短時間